



バロック・フルートの世界的名手
“バルトルド・クイケン”が来姫

Barthold Kuijken
Flauto traverso

バロック in 姫路

バルトルド・クイケンと仲間たち ～テレマンとパリの同僚～

バロック・ヴァイオリン 佐藤 泉 ヴィオラ・ダ・ガンバ 福澤 宏 チェンバロ 大塚 直哉

バロックを代表するテレマンの作品をたっぷり

F.クーブラン *François COUPERIN*

『諸国のの人々』第1組曲「フランス人」から ソナタ（“少女”）
“Les Nations” 1er Ordre “La Française” Sonate (“La Pucelle”)

J.M.ルクレール *Jean-Marie LECLAIR*

フルートソナタ ハ長調 op.2-3
Sonata in C major, op.2-3

J.P.ラモー *Jean-Philippe RAMEAU*

『コンセール形式のクラヴサン曲集』から コンセール第5番
Concert No.5 in d minor from “Pièces de Clavecin en Concerts”

G.P.テレマン *Georg Philipp TELEMANN*

無伴奏フルートのための12のファンタジー TWV 40:2-13 から
第6番 ニ短調、第3番 ロ短調

Fantasies for flute solo No.6 in d minor, No.3 in b minor

『3つの演奏技法用トリエツトと3つのスケルツォ集』から
トリエツト 第2番 ニ長調 TWV 42:D2

Trietto II in D major from “III Trietti methodichi e III Scherzi”

パリ四重奏曲 第12番 ホ短調 TWV 43:e4

Paris Quartet No.12 (6e. Quartuor from “Nouveaux Quartuor”) in e minor

2022

11.27 ⑩ 14:00開演 (13:30開場)

Sunday November 27, 2022 at 2:00 p.m. Parnassus Hall, Himeji
Tickets: Adult ¥3,000 / Elementary-High School Student ¥1,500

入場料 | 一般：3,000円 高校生以下：1,500円 全席指定

【チケット発売開始】8月31日⑩ / 友の会会員：8月29日⑩

フ レ イ グ イ ド	パルナソスホール	079-297-1141	・チケット販売時間は10:00～17:00
	姫路キャスパホール	079-284-5806	(発売初日の電話予約は11:00より)
	ローソンチケット	Lコード: 53125	・ローソンチケットは別途手数料等がかかります。

パルナソスホール
Parnassus-Hall

姫路市立姫路高等学校音楽ホール

無料シャトル便運行 (主催公演に限る)
生涯学習大学校駐車場 ⇄ ホール

アクセス JR「姫路駅」、山陽電車「山陽姫路駅」より

●神姫バス 約15分「姫路高校前」下車すぐ ●タクシー 約15分
※JR姫路駅北口バスターミナル10番乗り場「大池台」「書写山ロープウェイ」行き乗車

お願い

※就学前のお子様のご同伴・ご入場はご遠慮ください。
※公演の内容が一部変更になる場合がございます。予めご了承ください。
※客席内での写真撮影・録音・録画は、固くお断りいたします。



演奏会によせて

バロック・フルート（フラウト・トラヴェルソ）の名手バルトルド・クイケン氏がついに姫路に登場します。木でできたバロック期のフルートは、単なる過去の遺物ではなく、現代の耳にとってもこんなにも魅力的で雄弁なものであるということを経験中に知らしめた同氏が、今回、姫路のために用意してくださったプログラムは、フラウト・トラヴェルソのための美しい音楽をたくさん残したバロックを代表する作曲家テレマンと、同時代のパリの音楽家たちによる作品です。フラウト・トラヴェルソを中心に、バロック・ヴァイオリン、ヴィオラ・ダ・ガンバ、チェンバロが親密な会話を繰り広げるかのような18世紀の名作の数々を、響きの良い姫路パルナソスホールでどうぞ存分にお楽しみください。

大塚 直哉



バルトルド・クイケン Barthold Kuijken (フラウト・トラヴェルソ)

1949年、ベルギーに生まれる。フラウト・トラヴェルソ（バロック・フルート）の第一人者として活躍。二人の兄、ヴィーラント（チェロ及びヴィオラ・ダ・ガンバ）とシギスヴァルト（ヴァイオリン）と共に、長年にわたり世界の古楽界で指導的な役割を果たしてきた。その一方、現代音楽にも積極的に取り組んでいる。ブルージュ及びブリュッセル音楽院でフルートを学び、ハーグ音楽院ではフルートのフランス・フェスター、リコーダーのフランス・ブリュッヘンから多大な影響を受けた。グスタフ・レオンハルト、フランス・ブリュッヘン、ロベール・コーネン、ポプ・ファン・アスペレン、ルネ・ヤーコプスらとたびたび共演。バロック・オーケストラ「ラ・プティットバンド」では頻繁にソリストを務めている。アクサン、セオン、ドイツ・ハルモニア・ムンディ、ソニー・クラシカル、ナクソスなどから多数のCDをリリース。インディアナ大学から出版された著書The Notation is not the Musicは日本でも翻訳され、2017年道楽書院より出版、各方面より好評を得た。ブリュッセル及びハーグ王立音楽院で長年にわたり教鞭をとり、現在も世界各地で後進の育成に力を注いでいる。



佐藤 泉 Izumi Sato (バロック・ヴァイオリン)

京都市立芸術大学音楽学部を卒業。岩淵龍太郎氏にモダンヴァイオリンを師事。神戸市立室内合奏団にて活動後、1994年からブリュッセル王立音楽院にてバロック・ヴァイオリンをシギスヴァルト・クイケン、フランソワ・フェルナンデスに、室内楽をバルトルド・クイケンに師事。1996年NHK・FMに出演。1999年栄賞賞付きディプロマを取得。「ラ・プティットバンド」などで活動後帰国。2005年から2年間東京藝術大学音楽学部古楽科非常勤助手を務める。2000年より連続コンサートシリーズ「バッハからのメッセージ」を企画。



福澤 宏 Hiroshi Fukuzawa (ヴィオラ・ダ・ガンバ)

オランダのデン・ハーグ王立音楽院卒業、ソリストディプロマを取得。ヴィオラ・ダ・ガンバをヴィーラント・クイケン氏に師事。これまでにソロ・リサイタルの他、古楽関係の音楽祭やバッハ・コレギウム・ジャパンの演奏会、レコーディングに数多く参加するなど、全国各地で多彩な活動を行っている。フォンテックより「マラン・マレ/ヴィオール曲集第3巻」（2015レコード芸術誌特選盤）をリリース。2000年から2021年まで東京藝術大学古楽科の非常勤講師を務めた。現在、東海大学教養学部芸術学科非常勤講師。



大塚 直哉 Naoya Otsuka (チェンバロ)

東京藝術大学大学院チェンバロ専攻、アムステルダム音楽院チェンバロ科およびオルガン科修了。「バッハ・コレギウム・ジャパン」などのアンサンブルにおける通奏低音奏者として、またチェンバロ、オルガン、クラヴィコードのソリストとして活躍するほか、これらの楽器に初めて触れる人のためのワークショップを各地で行っている。チェンバロのソロCD「トゥッカーレ [触れる]」（ALM RECORDS）のほか録音多数。現在、東京藝術大学音楽学部教授、国立音楽大学非常勤講師。宮崎県立芸術劇場、彩の国さいたま芸術劇場オルガン事業アドバイザー、パルナソスホールチェンバロ講座講師を務める。NHK・FM「古楽の楽しみ」案内役。

新型コロナウイルス感染予防対策にご理解、ご協力をお願い申し上げます

ご来場前にウェブサイト掲載情報をご確認ください。
<https://parnassushall.himeji-culture.jp>



おことわり
感染の再拡大等により、公演中止や座席配置、内容等が変更になる場合がございます。